

令和4（2022）年4月8日（金）

令和4年度 入学式式辞概要

○本校は、大正2年（1913年）尼崎町立実科高等女学校として創設され、昭和23年（1948年）に現在の校名となり、長い伝統と歴史を誇る高等学校。市尼の伝統を継承し、本校の校訓にある「正しく、強く、美しく」を常に意識して、充実した高校生活を送ってほしい。

○全国共通の学習の基準として定められている学習指導要領が改訂され、高校での学びが大きく変わる。新1年生から順次、実施される。新しい学習指導要領では「子どもたちが自分で未来を切りひらいていけるように、生きていくための資質能力を育てていく」ことを大事にし、生きる力として3つの柱を掲げている。

1. 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力や人間性
2. 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
3. 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力

○3つの柱に基づき、教科の授業内容や教科書も新しく再編成された。

例えば公民では選択科目の一つである「現代社会」が廃止され「公共」という新しい科目ができ、選択ではなく必修となる。内容は社会問題について考えていくもので、答えのない問題についても考えていくというような内容。18歳選挙権や18歳成人に伴うもの。

○改訂は本来10年後の社会を見越して、社会の変化が激しく予測困難な時代の中であっても、社会や人生をより豊かなものにしていく人材を育てることを期待して行われ、子供たちがこれから生きていくために必要な能力を育てていくためのもの。

○このコロナ禍で10年後どころかまさしく今、変化が激しく予測困難な時代が到来し、この新しい学習指導要領の趣旨を踏まえた教育が身をもって必要なものであると感じている。

○国では、高校生の学習意欲を高め、可能性や能力を伸ばすために高校の特色化や魅力化に対する取り組みを進めている。その一つとしてスクールミッションというものを策定することを各高校の設置者、すなわち本校であれば尼崎市に求めた。高校の存在意義や社会的な役割、目指すべき

学校像を表わしたもので、市は昨年度末にこのスクールミッションを策定、市立高校3校共通のスクールミッションを「Agency（エージェンシー）」とした。

- Agencyという言葉は予測困難な変化や課題に直面した際に自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会を変えていく能力や姿勢のこと。まさしく今の時代に必要なもので、ウイズコロナ、アフターコロナ時代において、新たな教育を生み出す鍵と考えられている。
- 高校生活を送る上で大切にしてほしいこととして他人に対する思いやりがあり、何事も謙虚に受け止められるということが、豊かな人間関係を築くうえで必要なものであり、自分の可能性を大きく広げてくれる。友だち同士や地域の方々との関係を大切にし、まず自分から思いやりを持ち、その気持ちを具体的な言葉や行動に置き換えて実践してほしい。一つの思いやりに満ちた言動や行動は、次の思いやりのある言動につながり、その輪は確実に広がっていく。出会った人に感謝し、思いやりを持って接する、その実践の積み重ねが安心して生活できる環境や関係性を作り、お互いの学びを保障することにもなる。
- これから起こるであろう問題や課題、大人への壁はなかなか一人では解決しにくいものもある。互いに支えあい、本当の気持ちをお互いに出すことができ、解決のための補助線を引きあえる人間関係、一生の友をこの市尼でぜひ作ってほしい。
- 保護者の皆様へ（入学のお祝いを述べる）本校でのこれからの三年間は、自分の人生の在り方を模索し、自分の将来の道筋を決める大切な時期となる。教職員一同、必要な資質能力を伸ばすことができるよう全力で指導・支援させていただく。本校との連携を密にさせていただくとともに、本校の教育に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。